

フレームボディ & シャーシー

フレームは目標性能の、「ハイネッククルーザーをクールに乗りこなす」を実現するために、あらゆるシチュエーションにおいて能動的に楽しめるハンドリング / フィールと、低速時に切れ込みのない素直な取り回し性を狙いとしました。

過渡的なたわみをコントロールする為に、丸断面高張力管を基本としたダブルクレードルフレームとし、シートレール廻りは強く、その他にはしなやかな剛性を与えています。

また、別体式ピボットブラケットを介してスイングアームをエンジン後端部に直接締結する事で、リアタイヤからの外乱入力を効果的に分散する構成としました。

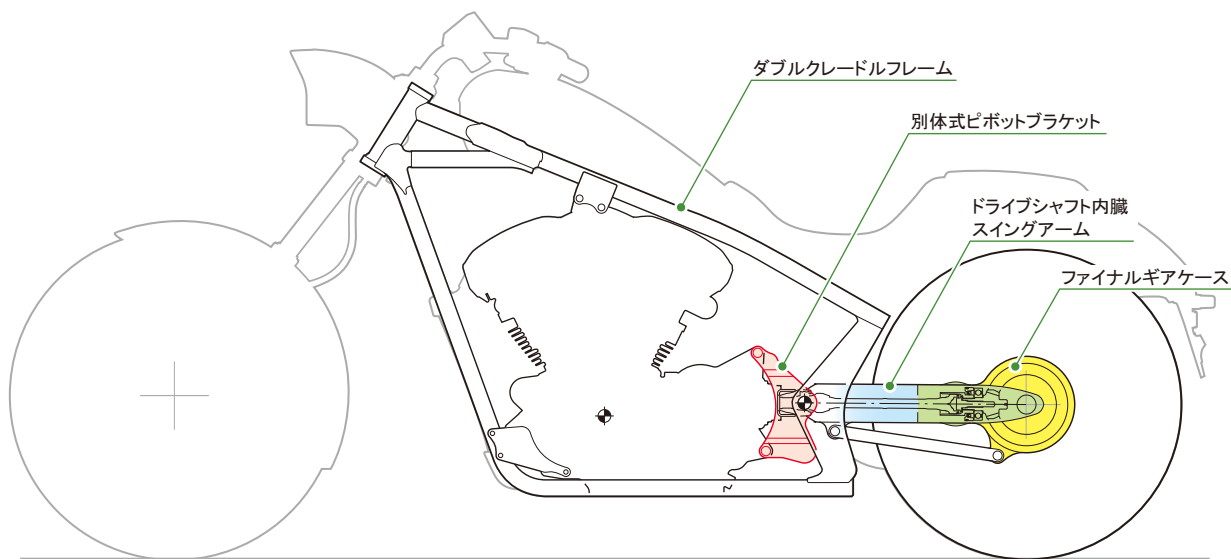
これらにより、縦 / 横 / ねじれ剛性を、それぞれ独立して効果的に得られる「筋肉を持つ骨格」を作り上げました。

更に、ドライブシャフトを内蔵するスイングアームは、剛性の最適化をはかるためにアルミニウム製とし、ファイナルギアケースが別体となる世界初*の構造としました。

ライダーは、リアタイヤの粘りを感じ、体を預けられる過渡特性からくる安心感と共に、低周波の燃焼振動を伝えやすくしたフレームにより、V ツインの鼓動感にあふれたクルーズを楽しめます。

*Honda 調べ

●フレームボディ & シャーシー



●アルミニウム製スイングアーム / 別体ファイナルギアケース

